

講演

テーマ「急性期の在宅治療（Hospital At Home）」

医療法人社団悠翔会 理事長

佐々木淳様

公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団 設立35周年記念式典・祝賀会

①研究助成発表

テーマ「医療的ケア専門等コーディネーターの活動状況と課題に関する調査研究
地域における効果的な運用を目指して」

小田島朋様

②事業助成発表

テーマ「生命を脅かす病気で在宅療養している子どもの希望を叶える、
「」どもホスピスルーム事業」



設立35周年記念式典・祝賀会 報告書

開催日時：2025年10月17日（金）14:00～17:35

開催場所：ホテル椿山荘東京



公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

ご挨拶・開催趣旨



池田理事長



松谷会長

・理事長挨拶（要約）

設立35周年を迎えたことへの喜びと、日頃のご支援への感謝を述べました。1990年の設立以来、「共に生きる社会」の実現を目指し、在宅ケアや各種助成を通じて社会に貢献してきたことを振り返るとともに、今後も理念を大切にしながら、さらなる発展を目指す決意を語りました。

・開催趣旨

設立35周年という節目を迎えるにあたり、当財団がこれまで推進してきた在宅ケアの取り組みと、現在直面している課題を振り返り、今後の歩みについて考える機会とすること。また、長年にわたり当財団の活動を支えてくださった皆様に、感謝の意を表する場とすることを目的として、本式典を開催いたしました。

式典概要

- ・日時：2025年（令和7年）
10月17日（金）
14:00～17:35
- ・会場：ホテル椿山荘東京
- ・参加者数：89名

来賓 : 5名
招待者 : 73名
応援職員 : 6名
財団職員 : 5名



式次第



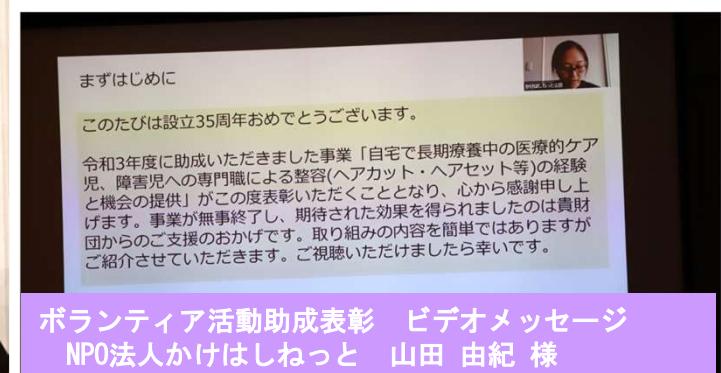
【第一部】記念式典

開会挨拶 14:00~14:05	公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団 代表理事 会長 松谷 有希雄
来賓挨拶 14:05~14:10	前 日本訪問看護団 常務理事 佐藤 美穂子 様
講演 14:10~14:50	『急性期の在宅治療 (Hospital At Home)』 医療法人社団悠翔会 理事長 佐々木 淳 様
14:50~15:00	表彰式（賞状授与式）
研究助成採用者発表① 15:00~15:10	『医療的ケア児等コーディネーターの活動状況 と課題に関する調査研究－地域における効果的 な運用を目指して－』 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 流動研究員 小田島 朋 様
事業助成採用者発表② 15:10~15:20	『生命を脅かす病気で在宅療養しているこども の希望を叶える、こどもホスピスルーム事業』 NPO法人東京こどもホスピス 代表理事 佐藤 良絵 様
ボランティア活動助成 採用者発表③ 15:20~15:30	『自宅で長期療養中の医療的ケア児、障害児へ の専門職による整容（ヘアカット・ヘアセット 等）の経験と機会の提供』 特定非営利活動法人かけはしねっと 山田 由紀 様
ビデオメッセージ	



【第二部】祝賀会

ウェルカム演奏 ミュージックトレイン音楽スクール 代表 坂東 ヒロミチ 様 藤本 耕一 様 水井 礼子 様	16:00~16:05	公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団 代表理事 理事長 池田 茂
来賓祝辞 16:05~16:15		元 社会保険審査会 委員 大谷 すみれ 様 国際医療福祉大学大学院 教授 白澤 政和 様
乾杯の発声 16:15~16:20		株式会社日本ヘルスケア総合研究所 上席研究員 二川 一男 様
ご歓談 16:20~17:20		
ビデオメッセージ		一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長 辻 哲夫 様 社会福祉法人椎原寿恵会 理事長 中川原 三和子 様
祝電披露・思い出話		元 フランスベッドホームケア財団 常務理事 小宅 比佐子 様 社会福祉法人浴光会 国分寺病院 理事長 高木 智匡 様
閉会の挨拶 17:20~17:25		公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団 理事 池田 一実 様



主な場面 (第一部 式典)

第1部の式典では、佐藤先生からのご挨拶、佐々木先生の記念講演、助成事業の表彰式及び発表が行われました。



主な場面（第二部 祝賀会）

故 大谷会長の功績を思い出しながら、乾杯の後は和やかに会は進みました。





「ご祝意を賜った皆様」

ご芳名（敬称略）	ご所属	ビデオメッセージの要旨
辻 哲夫 	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長	在宅ケアの推進へ先進的な考えを持ち、眞の先駆的行動をされた池田理事長及び財団に敬意を表します。
中川原 三和子 	社会福祉法人椎原寿恵会 理事長	池田理事長の在宅ケアの推進に対する熱い想いが現在の仕組みに繋がっていると思います。これから事業展開がさらに発展することを祈念します。
ご芳名（敬称略）	ご所属	財団との思い出の要旨
小宅 比佐子 	フランスベッドホーム・ケア財団 前 常務理事	財団に在職中、お世話になった方々のお名前を一生懸命思い出しながら、たくさんの思い出を語っていました。
高木 智匡 	社会福祉法人浴光会 国分寺病院 理事長	池田 茂理事長との初めての出会いでは、病院内での急変があり、30分以上待たせてしまったエピソードや、池田 実前社長との出会い等を面白おかしくお話しいただきました。

「ご祝意を賜った皆様」



ご芳名 (敬称略)	ご所属	祝電の要旨
柳橋 礼子	公益社団法人 東京都看護協会 会長	貴財団の今までのご功績に敬意を表します。
隈野 俊亮	第一生命保険株式会社 代表取締役社長	貴財団の今までのご功績に敬意を表すとともに、今後のさらなるご繁栄をお祈りいたします。
李 康行	野村証券株式会社 本店法人 営業二部長	設立35周年記念を心からお祝いを申し上げます。さらに大きく飛躍されますよう祈念いたします。
安田 勝紀	シルバー産業新聞	日本の高齢社会の介護をしっかり下支えた長年のお取り組みに深甚の敬意を表します。



田村先生と佐々木先生



ほんのり赤い白澤先生



池田副社長兼財団理事



財団顧問の清水嘉与子先生



マルチポジションベッドのご紹介



楽しそうな池田理事長



マギーズ東京の秋山先生



日本訪問看護財団の平原理事

会場の様子

これからのは在宅ケアは、医療・福祉・生活支援が連携しながら、 「支援」ではなく「共に生きる」社会の実現へ

1. 地域包括ケアと在宅介護の深化

制度が成熟した現在、医療・福祉の境界を越え、暮らしを支える多職種連携の再構築が求められています。当財団は地域特性に応じた助成や事業支援を通じて、都市部・地方を問わず“暮らしの場”に根ざしたケアの実現を後押しします。

2. 医療・看護・技術の統合的支援

訪問診療・訪問看護の充実、専門職の育成、ケア観点テクノロジー（=人の暮らしや尊厳を中心に据えた支援技術）の普及啓発など、多様な視点が示されました。財団はその融合点に立ち、支援技術と人材養成をつなぐ情報提供プラットフォームとしての役割を担っていきます。

3. テクノロジーと予防支援の推進

AI、DX、センシング技術を活用した見守り、認知症の予兆発見など、在宅ケアと科学の接続が進みつつあります。財団は技術活用においても、倫理的配慮と利用者主体の視点を持ち、持続可能な支援モデルの開発に取り組む個人・団体への支援を進めてまいります。

謝 辞



会場準備・受付をご支援くださいましたフランスベッド
総務部の皆様

- ・設立35周年記念式典・祝賀会の開催にあたり、多くの皆様より温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。
- ・長年にわたり当財団の活動を支えてくださった関係者の皆様、式典の準備・運営にご尽力いただいた皆様、そしてご祝意をお寄せくださった皆様のご厚情に、深く感謝申し上げます。
- ・皆様のお力添えにより、本式典を無事開催することができましたことを、職員一同、誇りと喜びをもって受け止めております。
- ・今後とも、当財団の活動へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



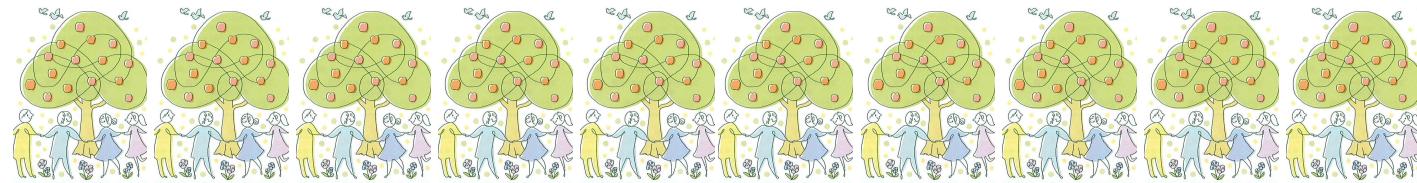
公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

〒187-0004 東京都小平市天神町4丁目1番1号
フランスベッド（株）メディカレント東京3階

TEL 042-349-5435 FAX 042-349-5419

<https://www.fbm-zaidan.or.jp>





皆様のご支援に感謝を込めてーこれからも、共に歩んでまいります。

